

平成26年度

平成26年7月1日～平27年6月30日 ⑨

環境活動レポート

ビルの管理を通じて環境衛生に貢献します。



広島管財株式会社

<http://www.hr-kanzai.co.jp>

目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲およびレポート対象期間・発効日
3. 環境方針
4. 環境目標
5. 環境活動計画
6. 環境目標の実績
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、
次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 組織の概要

事業所名	広島管財株式会社
代表者	代表取締役社長 川妻 利絵
所在地	広島市中区大手町5丁目7番17号
環境管理責任者	総務部長 宮本 明男
担当者	企画サポート室 田原 啓次
連絡先	☎ 082-243-5501 FAX 082-241-4323
従業員数	256名
床面積	460m ²
認証登録範囲	認証登録組織：全組織（本社及び現場）
対象期間	平成26年7月1日～平成27年6月30日
発効日	平成27年9月29日

事業概要

		売上高（単位百万円）
第53期	2013年4月～2013年6月	179
第54期	2013年7月～2014年6月	734
第55期	2014年7月～2015年6月	747

総合ビルメンテナンス業	
建築物環境衛生管理業	豊富な経験とノウハウでお客様の建物の維持・環境衛生管理に貢献いたします。今後、全社員環境衛生士取得を目指し清潔な環境を提供することでお客様のビジネスの効率アップに貢献します。
建築物飲料水貯水槽清掃業	
建築物ねずみ昆虫防除業	
ビル建物清掃	
警備業	豊かな経験・専門知識で警備にあたり、利用者の立場を考えた迅速な行動と安全性の確保に努めています。
ビル設備保守運転管理	高い技術力でお客様の大切な建物を保守・コントロールしながら、快適な空間を維持管理し、ライフサイクルコスト削減に協力します。
Lapica	ハウスクリーニング・整理整頓
施設サービス	寮管理 ご両親、ご家族に安心をお届けします。
みどりのポスト	紙のリサイクルとセキュリティの両面をあわせもつ「みどりのポスト」

1. 組織の概要

新規事業紹介



掃除に片付け  すっきり

LaPica

ハウスクリーニング・整理整頓など、より快適な住環境のトータルライフサポート。確かな教育を受けた女性スタッフが中心となり、お客様に安全で安心していただけるサービスを「**LaPica**」ブランドがご提案いたします。

みどりのポスト

リサイクルとセキュリティの両面
をあわせもつ「みどりのポスト」

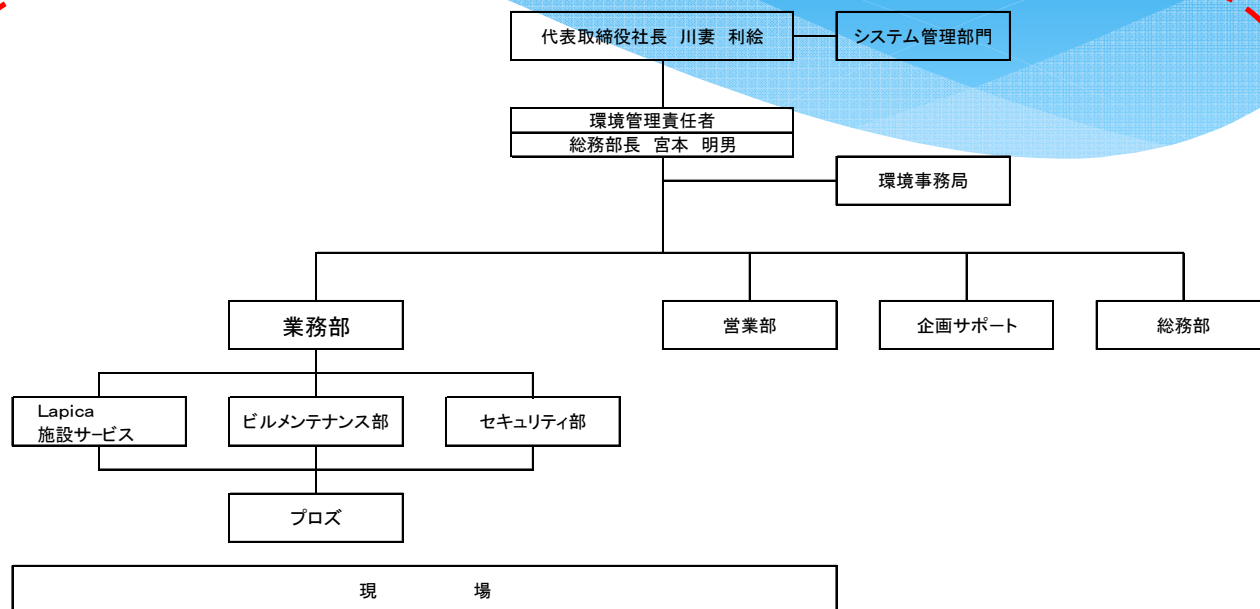


2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発効日

対象範囲 凡例

●レポート対象期間：平成26年7月1日～平成27年6月30日

●レポート発行日：平成27年9月29日



	役割 ・責任 ・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境活動実施計画書を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備え付けと事務局への送付)
部門長 ・ 総務部長 マネージャー ・ 業務部 マネージャー ・ 営業部長 ・ 新事業室	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境方針を理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境方針

環 境 方 針

私たちは、ビルの総合管理をする上で、ますます深刻化する地球温暖化に対し、ビル利用者に快適な環境を提供することと共に、温室効果ガス[CO2]排出量の削減を図るために、全社員一丸となつて自主的・積極的に、環境保全活動に取り組めます。

〈 環境保全への行動指針 〉

1. 具体的に次のことに取り組めます

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の削減
- ③ 水資源の節水
- ④ 環境に配慮した資機材の利用及び販売促進
- ⑤ グリーン購入の促進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、「**エコアクション21**」の定着を図ります。

- 2. 地域社会における環境保全活動に積極的に参加し、社会貢献活動を推進します。
- 3. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 4. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

2008年12月1日 制定
2011年4月15日 改定
2013年4月 1日 改定

代表取締役社長

川妻 利絵

4. 環境目標

環境目標	2013年7月～ 2014年6月 基準年	2014年7月～ 2015年6月 削減目標2%	2015年7月～ 2016年6月 削減目標4%	2016年7月～ 2017年6月 削減目標6%
電力のCO ₂ 排出 量削減	33,828kg-CO ₂	33,151kg-CO ₂	32,610kg-CO ₂	31,933kg-CO ₂
自動車燃料の CO ₂ 排出量削減	15,323kg-CO ₂	15,016kg-CO ₂	14,770kg-CO ₂	14,464kg-CO ₂
一般廃棄物の 削減	846kg	829kg	812kg	796kg
水道水使用量 の削減	401m ³	393m ³	386m ³	386m ³
環境配慮洗剤 の使用	503個	514個	521個	531個
みどりのポスト販 売	22個	22個	23個	23個
グリーン購入	72%	80%	80%	80%
地域貢献活動 環境美化活動 参加	12P	12P	12P	12P
化学物質管理	使用量が極めて少なく目標設定を行わないが、適正に管理していることを定期的に確認する。			

削減目標(%)は基準年(2013年)比で表示

CO₂排出係数は平成24年度中国電力の排出係数(0.738kg-CO₂/kwh)を使用する。

5. 環境活動計画

CO₂排出係数は平成24年度中国電力の排出係数(0.738kg-CO₂/kwh)を使用する。

項目	環境目標	取組内容
二酸化炭素	電力のCO ₂ 排出量削減 △2%	不要照明・温水便座のスイッチOff クールビズ・ウォームビズ運動 エレベーター使用制限 パソコンの省エネ設定、不要時の電源off 高効率機器導入
	自動車燃料のCO ₂ 排出量削減 △2%	エコドライブ運転展開 省エネ車両の導入 急加速・急停止の防止、アイドリングストップ 公共交通機関の利用 自転車の活用
廃棄物	一般廃棄物排出量削減 △2%	書類の簡素化、電子化、ペーパーレス化 両面・集約等の複合機の機能の活用 コピー機器の枚数リセット履行 リユース活動(裏紙、封筒の活用)
節水	水道水使用量の削減 △2%	流しっ放しにしない 節水呼び掛け 漏水点検
環境配慮製品使用	環境配慮洗剤使用量増 +2%	ナハック使用促進 バイオ洗剤使用促進
環境配慮製品販売	みどりのポスト販売量 100%	みどりのポスト販売促進と自己使用 ホームページの更新
グリーン購入	グリーンマーク資材使用促進 購入比率80%	グリーン購入の徹底推進 グリーン購入手順書遵守及び活用
地域貢献	社会貢献活動と地域コミュニケーション 100%	環境美化活動への積極参加 地域からゴミを無くす運動推進 会社周辺清掃 広島市平和公園美化奉仕活動 広島市太田川クリーンキャンペーン 広島市ごみゼロ・グリーンウォーク 年末地域大掃除

6. 環境目標の実績

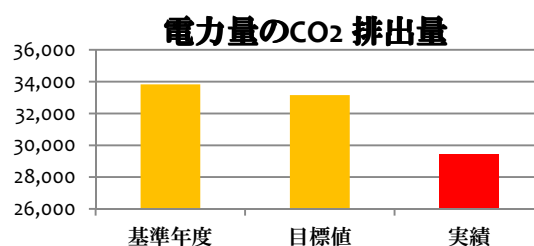
CO₂排出係数は平成24年度中国電力の排出係数(0.738kg-CO₂/kwh)を使用する。

項目	環境目標	2014年削減目標	実績	評価
二酸化炭素	電力のCO ₂ 排出量削減 △2%	33,151kg-CO ₂	29,439kg-CO ₂	◎
	自動車燃料のCO ₂ 排出量削減 △2%	15,016kg-CO ₂	14,635kg-CO ₂	◎
廃棄物	一般廃棄物排出量削減 △2%	829kg	767kg	○
節水	水道水使用量の削減 △2%	393m ³	507m ³	×
環境配慮製品使用	環境配慮洗剤使用量増 +2%	514個	522個	◎
環境配慮製品販売	みどりのポスト販売量 ±0%	22個	37個	◎
グリーン購入	グリーンマーク資材使用促進 (比率管理) 80%	80%	82%	◎
地域貢献	地域貢献活動 ±0%	12ポイント	14ポイント	◎

二酸化炭素

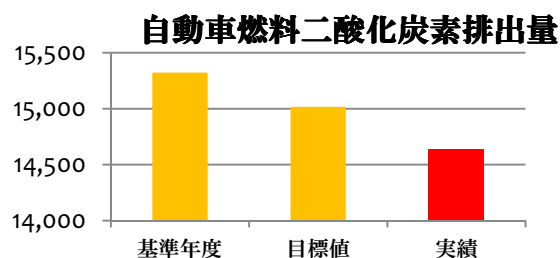
電力量CO₂排出量

	kg-CO ₂
基準年度(2013年度)	33,828
目標値(2014年度)	33,151
2014年度(実績)	29,439



自動車燃料のCO₂排出量

	kg-CO ₂
基準年度(2013年度)	15,323
目標値(2014年度)	15,016
2014年度(実績)	14,635

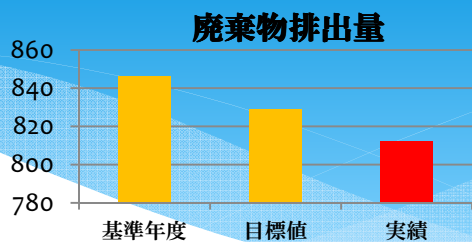


6. 環境目標の実績

廃棄物

廃棄物排出量

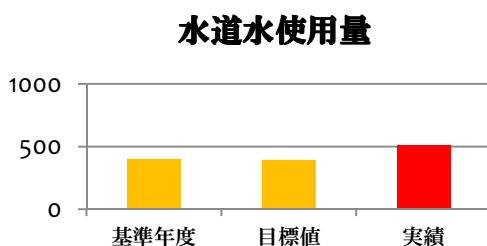
	kg
基準年度(2013年度)	846
目標値(2014年度)	829
2014年度(実績)	812



節水

水道水使用量

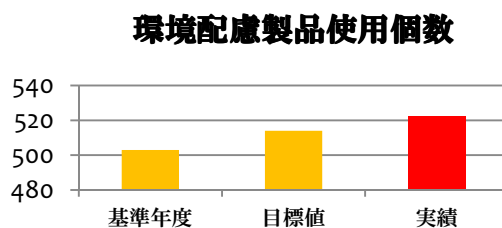
	m ³
基準年度(2013年度)	401
目標値(2014年度)	393
2014年度(実績)	507



環境配慮製品の使用

環境配慮製品使用個数

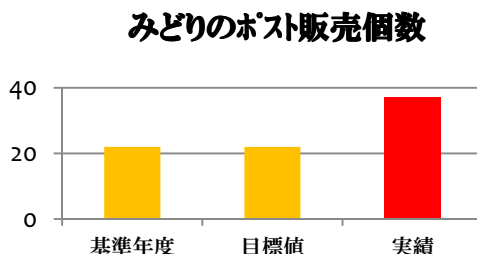
	個
基準年度(2013年度)	503
目標値(2014年度)	514
2014年度実績	522



みどりのポスト販売

みどりのポスト販売個数

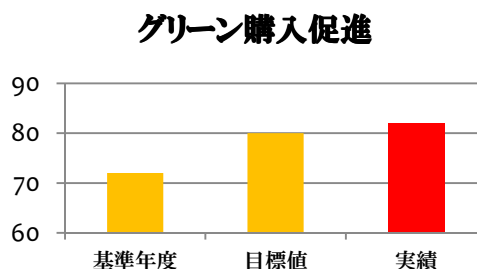
	個
基準年度(2013年度)	22
目標値(2014年度)	22
2014年度(実績)	37



グリーン購入促進

グリーン購入促進

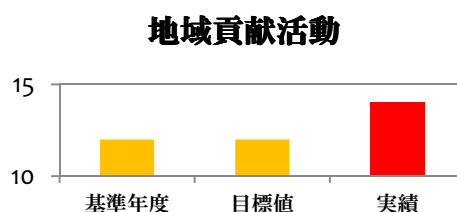
	%
基準年度(2013年度)	72
目標値(2014年度)	80
2014年度(実績)	82



地域貢献活動

地域貢献活動

	回
基準年(2013年度)	12
目標値(2014年度)	12
2014年度(実績)	14



7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

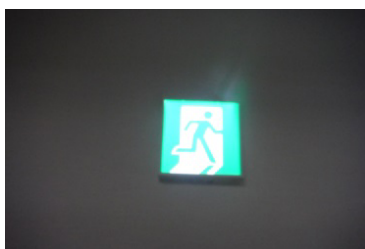
項目	環境活動計画の達成手段	取組結果とその評価	計画達成のための次年度取組内容
電力のCO ₂ 排出量	不要照明スイッチoff△ 温水便座のスイッチoff◎ クールビズ・ウォームビズ運動◎ エレベーター使用制限○ パソコンの省エネ設定◎ 不要時の電源off真△ 高効率機器の導入○	目標値よりも11%削減達成◎ 機器更新の効果が大きい 温水便座のスイッチはセキュリティシステム連動に改良したので達成手段から削除する パソコンの省エネ設定も削除 他項目は継続実施	不要照明スイッチoff クールビズ・ウォームビズ運動 エレベーター使用制限 不要時の電源off 高効率機器の導入
自動車燃料のCO ₂ 排出量	エコドライブ運転展開× 省エネ車両の導入△ 急加速・急停車の防止△ アイドリングストップ△ 公共交通機関の利用○ 自転車の活用○	目標値よりも2.5%削減達成○ (×と△項目は力不足) ×と△項目に絞り実施 自転車の活用 公共交通機関活用は定着したので削除	エコドライブ運転展開 省エネ車両の導入 急加速・急停車の防止 アイドリングストップ
一般廃棄物の削減	書類の簡素化、電子化、ペーパーレス化△ 両面、集約等の複合機の機能活用△ コピー機の枚数リセット× リユース活動(裏紙、封筒の活用)△	目標値の7.5%削減達成○ 総排出量管理に変えたことで電子化ペーパーレス化を主要取組にする	書類の電子化 社内のペーパーレス化 裏紙使用 飲料容器の適正廃棄(買ったところで廃棄)
水道水使用量の削減	流しっ放しにしない△ 節水呼び掛け○ 漏水点検○	目標値の129%増(未達)× トイレの漏水発生 水使用量の変化時に機器点検早めに実行	流しっ放しに注意 節水呼び掛け 水道設備のメンテナンス

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

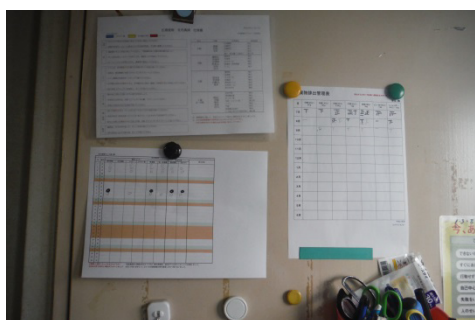
項目	環境活動計画の達成手段	取組結果とその評価	計画達成のための次年度取組内容
環境配慮製品の使用促進	トイレクリーナを環境にやさしいものに切り替える○	目標値の102%○	全現場に導入済 ⇒本項目は削除する
みどりのポスト販売量	環境配慮製品販売促進目標の説明× 紙のリサイクルシステム△「みどりのポスト」拡販と自己使用によるCo2削減△ ホームページへの更新△	目標値の168%◎	販売促進によるホームページの活用
グリーンマーク資材使用促進	事務用品についてグリーン購入の徹底を図る○ グリーン購入手順書に基づき紙・プラスチック製品の促進△ 営業車・電気製品買い替え時のグリーン購入手順書を優先検討△	購入比率管理 目標80%⇒実績82%○	グリーン購入手順書活用 大型機器更新時の徹底管理
地域貢献活動	環境美化活動への積極参加○ 地域からゴミを無くす○ 会社周辺清掃○ 平和公園美化奉仕活動○ 太田川クリーンキャンペーン× 広島市ごみゼロ・クリーンウォーク○ 夏季休暇及び年末地域大掃除	目標12回⇒実績14回	会社周辺清掃実施 平和公園美化奉仕活動参加 太田川クリーンキャンペーン参加 広島市クリーンウォーク参加 年末地域大掃除企画・参加

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

二酸化炭素排出量削減活動



一般廃棄物削減活動



7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

地域貢献活動

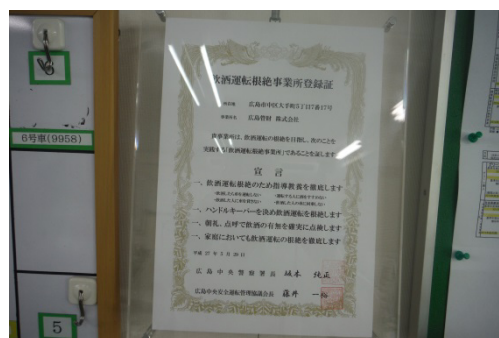
広島市クリーンウォーク



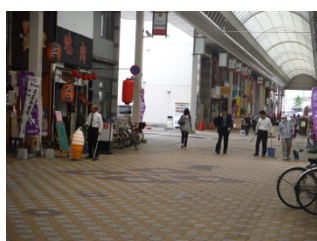
太田川クリーンキャンペーン



平和公園美化奉仕活動



会社周辺清掃



8. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規	要求事項	遵守状況
建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル管法)	建築物における衛生的環境の確保に関する事業の登録 衛生的な環境の確保を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図る	適
水道法	公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与	適
医療法15条の2	医療関連サービスマーク(院内清掃業務)認定	適
警備業法	警備業の要件 警備業者の責務 登録基準	適
消防法	火災予防措置 火災・地震等災害の被害の権限	適
廃棄物処理法	分別廃棄 収集許可認可確認	適
家電リサイクル法	特定家庭用機器の長時間使用と適切な廃棄(エアコン、ブラウン管テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電気冷蔵庫)	適
グリーン購入法	環境負荷の少ない社会の構築 環境物品等の情報提供 国民の健康で文化的な生活の確保	適
道路交通法	事故防止 エコドライブ推進	適
PRTR法	取扱量が少なくPRTR対象事業者に該当しないため、MSDS確認のみ実施する。	対象外

環境関連法規違反はありませんでした。

また、関係機関からの指摘及び訴訟、外部からの苦情等はありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境への取組評価



今年度はCO₂排出量について目標値比及び前年比で達成できました。これはパソコン等の設備を入れ替えたことが大きな要素です。ただし、不要電灯のスイッチOffについては出来てない場合が散見され継続課題としてあげています。

水道使用量の増加がみられ、次年度に向けて対策が求められます。(水道料は漏水が原因で対処工事を行い解決)
環境配慮トイレクリーナー等の使用量の増加は全現場にいきわたったことにより本年度で削除します。

環境経営システム 各要素の評価



対象は全事業所を継続
環境関連法規は更新できているか？
環境目標及び活動計画の更新は？
実施体制

- ・エコアクション21事務局の後継者の育成
 - ・顧客を含んだ内部監査の仕組継続
 - ・顧客にエコアクション21をアピール
- 事故対応他の要素は継続
・・・(プルタブ回収活動要検討)

見直し(変更の必要性と指示)



環境方針については変更しない。
目標・環境活動計画について「環境配慮製品の使用」について環境目標から削除する。
アルミ缶、アルミプルタブ回収は量がまとまらないので保留とする。